

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	一般社団法人ゆいまーる福島			公表日	令和8年2月12日	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2		・3室を有効に使う工夫をしている。	曜日によっては狭く感じる時がある。外での活動など工夫したい。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	2		・常勤・非常勤職員を適切に配置している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	4		・部屋の段差はない。 ・段差、手すりなど。 ・設備面では配慮が難しい。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2		・毎日の打合せにて話し合っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		・保護者との面談を多く話し合っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		・事業所の入口すぐに掲示している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				個々の児童・生徒への理解、その特性への対応について勉強不足である。場当たり的で反省している。指導に傾いていて、支援の意味を把握しておらず、反省している。	
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			児発管とスタッフとの打ち合わせや保護者面談の内容を反映して作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			標準化した質問紙等を適宜使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			スタッフと打合せして作成している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			子どもの課題に対応している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			日常的に集団での交流を大事にしている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4		・都度話している。 ・当日実施報告書に記載し振り返りを実施できる範囲で共有している。	・退勤時間の違いなど時間的なものから振り返りをする時間を持ってないことが多い。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			担当したスタッフが記録している。	
18 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1			・今後の工夫が必要	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			管理者兼児発管が参加している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			保護者から情報をもらい、学校や相談支援事業所との連携を密にしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			・医療的ケアを必要とする子どもがいない。 ・該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1		情報共有に努めている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7				・私自身が把握していない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			適宜専門機関との連携を行っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4		3		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7			積極的に参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			事務所での面談や電話などで連絡を取り合っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6			保護者のニーズを聞き取りながら適宜実施している	
保護者への説明等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1		事務所内や家庭訪問で支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2		毎月ママカフェを開催し、保護者同士が交流できる機会を設けている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			文章やメールで問題発生時には迅速に行動している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	1		・私自身が把握していない。 ・定期的な発信はしていない
	35	個人情報に十分注意しているか	8		1		・配慮に欠けた面があり反省している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7		1		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	3	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3		スタッフ会議で他での事案などを紹介している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1			・食物アレルギーのある子どもはいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	1		